

北海道の冬

札幌若葉
幼稚園 塚本 秋

いよ／＼北海道の天地にも冬の訪はやつて參りました。霰、雪、これらは北海道に住む私共の唯一つの名物とも云ひませうか。

この氣節になりますと、戶外運動をする者にはあまりに好適ではなくなりますが、昔から「子供は風の子」ともいはれております程に小供等は風が強いからと云ひ又は寒いからと云ひましても別に引込んでゐないのが當然の事であります。

ことに北海道の子等は雪が降り出しますと大喜びで手袋一つで外に出て、がらだの五六ばいもある様な大きな／＼雪だるまをこしらへます、雪のたまつた所には高い／＼山をこしらへてジャンプ臺等作り櫓之やらスキーをすべり落るのもかまわ

ずによじ登つてはやつて居ります。

男の子供は大きなつら／＼を刀にして雪合戦を初めます、私共は遂ひ寒さを忘れて小供と一緒に、雪だらけになつてやつて居ります。しまひには雪の上をころ／＼ころげまはつて、生きた雪だるまの様に頭から、足にいたるまで雪だらけになつてあとの仕末は如何にし様と手の付けどころのない様にしてしまいます。

然し寒い冬の風に吹かれながらも、雪の降る中に短いスカートやズボンに長靴をはいて、嬉々として遊んでゐるのは、ほんとうに愉快な、そして元氣さがあふれて居ります。

常地は寒いだけに、小供も内地の小供に比しまして、大層丈夫に出來てゐる様で御座います。

それで小供が戶外で遊びたがる時は、少し位の寒さの時でも出してやります。これは子供が戶外で遊ぼうとする自然の要求でありますから、これ

を強いて妨げるのは却つて健康増進の妨となり、外界の空氣と皮膚との接觸に依つて皮膚の健康を直接に計らうとして、間接に内臓諸器害の活動をよくしようとしてゐるのであります。殊に雪の中は埃もなく、空氣も清潔で降り積つてゐる中で遊ぶ小供は保健上頗るよい事と思ひます。

それで私共は雪國に生い立つ愛しき小供を元氣のあるそして強い子供として、仕上様と思つて居ります。

冬の觀察

鳩巢園 佐藤 萬壽

春夏秋の三季に於ては當園の如き田舎では自然界より可成色々と觀察材料を豊富に恵まれて居ます、故に幼兒は見るもの觸るものに興味を持って觀察をし、それが話となり、歌となり、手技となり

畫方となつて、私達へ深い興味を興へられます、然し冬期に於きましては、割合に材料が少なく、むしろこちらから、材料を幼兒に與へる様苦心いたす有様です。

冬の觀察としましては、別段各地と變つた點は御座いせんが、魚、鳥、樹木、草花、果實、器物、衣服の類其他行事に關するもの種々あります、尤も觀察は幼兒の遊びの最初に於かるべきもので、私達の職務上凡ての事項に於て、基礎となるものでありますから、相當指導上に責任を感ぜさせられます、と申て學校に於ける理科教授の様になつては、面白くないといふ點から、大抵の場合幼兒の興味をひく爲にこちらから、種々なものに接觸させ、幼兒よりの發問を待て觀察にとりかゝる事に致して居ます、特に材料を興へてする場合は、幼兒等の尤も目につき易い、場所に所定の材料を置き各兒思ひ思ひに觀察し、幼兒よりの發